



今日は十五夜

昨日は旧暦の8月15日。「中秋の名月」とも呼ばれる日に当たります。ちなみに昨年は9月17日でした。来年は9月25日だそうです。
“なんで日にちがちがうの？”と言われそうですが・・・。



「中秋の名月」が満月じゃない！？

「中秋の名月」というと満月だと思いますが、昨夜見られた月は、日付の上では満月の1日前になるそうです。昨日の月（中秋の名月）は見たところ、ほぼ満月のきれいな月でしたが、満月は今日10月7日（火）の夜見られます。

「中秋の名月」は満月でないことが多いそうで、調べてみたら、次に「中秋の名月」と「満月」が同じ日になるのは2030年だとか。5年も先みたいですよ。

秋に見られる月はとてもきれい？

昔からよく言われますが、旧暦（太陰暦）の秋は7～9月。そのちょうど真ん中あたりにあたる8月15日が「中秋の名月」と呼ばれる日です。きれいに見える理由は月の高さや天気。春や秋に見られる月が、見上げるのにちょうどよい高さになるからだそうです。

十五夜を楽しむ習慣

さて、この十五夜を楽しむ習慣は奈良・平安時代のころに中国から伝わったようです。お月見には団子のイメージもありますが、団子が食べられるようになったのは江戸時代からだそうです。

昨日の給食には丸いお団子が出ていました。丸い形だけでなく、「いも名月」の別名から里芋型や「へそもち」という丸くまとめて真ん中をへこませた形もあるそうです。味もあんこやみたらし、きなこ等、地域ごとに団子の種類やお備えする数が違うようです。満月は今日。明日の16日目の月も「十六夜（いぎよい）の月」と言われ、同じようにほぼ満月です。今週は、夜になったら空を見上げて、月を眺めてみませんか？



ふちやぎ

【ふちやぎ】

左の写真が何かわかりますか？
「ふちやぎ」です。

沖縄では十五夜に食べる習慣がありますが、みなさんの家庭では食べましたか？

「ふちやぎ」は、周りに小豆がまぶされています。伝統的なものは甘くなく、塩で味付けされています。最近は餅が砂糖やよもぎや紅芋、黒糖味など、様々な種類がスーパーで売られていますね。

《企業や地域と連携して学習》

今年度も各学年で校外の様々な力をお借りして学習をしています。先週、高学年が取り組んだ2つの事業は、申込をして当たると講師派遣がある制度を利用しました。キャリア教育との関連も視野に入れ、本校の子供が多くの人と関わり、専門的な話だけでなく多様な価値観との出会いを栄養にして学びを広げたいと思っています。

6年【未来の人材育成事業】10月1日

講師の大久保謙さんから、プロフィールやこれまでにされて来たことの紹介やその都度、立ち止まって考えたことなど様々なお話を伺いました。

ワークショップでは、自分の未来のプロフィールを想像して以下を考え話す活動をしていました。

- ①大道小で頑張っていること
- ②好きな教科
- ③今一番楽しいこと
- ④来年（2026年中1）は何しているか
- ⑤10年後（2035年22歳）は何をしているか
- ⑥2108年（数え年97歳のカジマヤー）の私

大久保さんからの言葉には・・・

- *つらいことを面白がるか
- *転んだときにどう立ち上がるか



*運命・宿命・使命
巡り合わせはみんなにある
それに気づけるか

他にもありましたが、言葉の意味を大事に考えたいものです。

5年【トヨタ未来スクール】10月1日

講師が6名来校し、「カーボンニュートラル実験教室」が開かれました。

ソーラー電池を使った車を動かす実験やグループに分かれて、「火力発電を減らしながら電気をつくれなにか」という課題で、独自のシートを用いて楽しみながら環境問題を考えていく活動に取り組みました。

途中で「地球温暖化の原因は？」というような質問に答えながら、ゲームを進め、正解したり課題をクリアしたりすると大きな歓声も上がっていました。

今、各企業は自社の業務にSDGsの観点から様々な活動をしています。理科や社会科の内容にも含まれており、この活動が他の学びに繋がるといいです。



■新ホームページURL■
<https://naha.ed.jp/daido-es/>

